

心に残る文化財子供塾 活動の概要と様子

—奥出雲町立阿井小学校—

1. 概要

6月23日（月）、奥出雲町立阿井小学校で『心に残る文化財子供塾』を開催しました。

はじめに遺跡や文化財が身近なものであることを知るために、町内に旧石器時代から古墳時代までたくさんの遺跡や出土品があることをスライドで紹介し、古墳時代の出土品を手にとって観察することで興味を深めました。学校周辺にもたくさんの古墳があることを知り驚いた様子でした。

後半は、鏡づくりを体験しました。一人一人が鋳込みから鏡面磨きまでを行いました。溶かした金属を鋳型に流し込む時は、タイミングをはかりながら緊張した様子でしたが、鋳型をはずし現れた鏡にホッと、歓声もあがりました。鏡面を磨く作業には悪戦苦闘しましたが、最後まで粘り強く続けてくれました。

学習と体験を通じて、地域の遺跡についてもっと知りたいと、関心を持ってくれた様子でした。

2. 様子

- ① 奥出雲町内の遺跡について理解を深める
- ② 古代体験活動 鏡の鋳込みに挑戦



3. 子ども塾を終えて

- ① 児童の皆さんから

- ・鏡のこと以外にも、昔の人はどんな生活を送っていたのか。
- ・昔の人は鏡を作るのにすごい時間がかかったこと。
- ・阿井にある古墳に行ってみたいと思った。

- ② 担任の先生から

- ・歴史の学習をする前でしたが、歴史の導入として実技もあったり、古墳のお話も聞けたりと、とてもよかったです。

- ・子どもたちがとても楽しんでいました。鏡作りの大変さに気付いたようです。
- ・子供たちも楽しく学んでおり、とても有意義な時間でした。

③ 埋文センターから

・町内には多くの遺跡があり、学校の近くにも古墳があることを学習して、遺跡や文化財が身近なものとなったことで、より興味を持てるようになったと思います。出土品を初めて手に取り観察したことで、実際に遺跡に行ってみたいと好奇心が高まったと感じました。